

擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 6月14日(金) Vol.11

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」

「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

テストを迎え撃つ

定期テストまで、1週間を切りました。登校する際に、ワークなどを片手に、歩きながら問題を出し合っている人も、近頃は見受けられます。先日、1年生の教室で、「小学校の時は、2週間も前からテスト勉強の計画を立てるようなことは、なかったでしょう」と先生が話すと、ほとんどの生徒が頷いていました。生徒の皆さんは、テストに向けた家庭学習の計画は、順調でしょうか。

17日(月)から、部活動などが停止になり、放課後には学年ごとに「学習支援日」が設けられます。自力で解いたり、先生や友達に教えてもらったりして、テストまでの時間を、学校でも家庭でも、大切にしたいと願っています。得点が全てではありませんが、できることをさらに伸ばし、分からないことを少しでも分かるように、積み重ねていきましょう。



【1 Aは社会科の授業で時差の計算に挑戦。先生が「難しいけど、頑張ってみよう」と励ましていました】



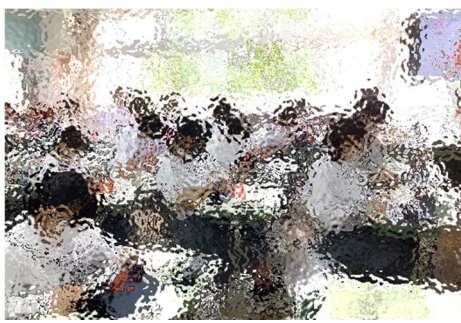
【2 Aの理科は、「燃えるマグネシウムを二酸化炭素の中に入れたらどうなるか」という実験。どうなりましたか？】



【3 Aはタブレットをフル活用した国語。プリントに書いたものは画像で先生に送り、その後は復習テストをアプリで実施】



【1 Bの国語は、「ベンチ」という物語について、解釈を話し合う班活動。あれこれと意見を交わすことに意義がありますね】



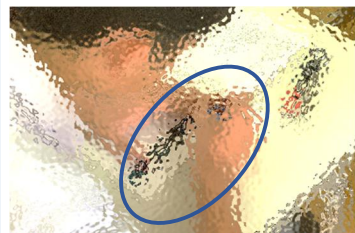
【2 Bの英語では、リスニングに取り組んでいます。解答は、タブレット上のワークシートに、打ち込んだり、指で書いたり】



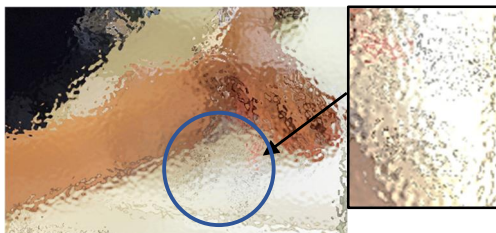
【有理数と無理数について学んだ3 Bの数学。その内容に「無理数なんてムリ！」と思わず、頑張ってください】

「どうやって勉強したらいいのかわからない」という声をよく聞きます。「自分に合った学習法」は、あれこれ試してみて、初めて見つかるものなので、いろいろな方法に挑戦してほしいと考えます。

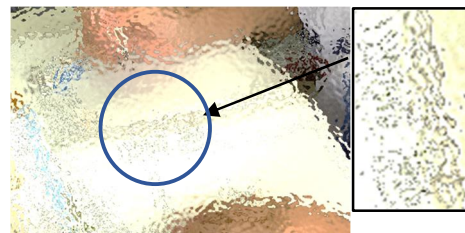
私がお勧めする学習法の一つに、「ノートを整理する」というものがあります。授業を思い出しながら、もう一度ノートを整理し直してみると、授業では覚えきれなかった部分を、じっくり学び直すことが



【定規を使うと、見栄えがよくなり、きちんと丁寧に整理しようという気持ちが高まります】



【イラストの好きな人は、ノートに、板書だけでなく、絵や図を添えると、楽しく学習でき、分かりやすくまとめることができます】



【ノートの余白などに、友人の発言や先生の話などから、気になったこと・気付いたことを、どんどん書き込んでみましょう】

できます。また、書いているうちに、分からないところが、はっきりしてきます。「復習をしたいけど、どこから手を付ければよいか」「自分は何が分からないのかが、分からない」という人にはお勧めです。

ただし、この方法は、時間がかかるので、試験直前には、あまり向いていないかもしれません。

学習法は、短期間で集中的に実行すると効果的な方法から、時間をかけてコツコツ実行すると効果的な方法まで、その時期によっても適したものがいろいろとあります。

試行錯誤を繰り返すうちに、自分に最も合った方法が見つかることでしょう。繰り返しになりますが、自分に合った学習法を見つけるためには、まずは、毎日の学習習慣を身に付けることが重要なのです。この週末を、有効に使ってほしいものです。そうそう、健康管理にも気をつけましょうね。

調理の道も一歩から

10日(月)、11日(火)の両日、2A、2Bが家庭科の授業で、「リンゴの皮むきと飾り切り」に挑戦しました。半分にしたリンゴを、それぞれ3等分して、①芯を取って皮をむいた一般的な型②ウサギ型③木の葉型…の3種類に仕上げる、というもの。リンゴや梨などを包丁でむいたことがない、または、まだ

発展途上……という人が多かったようで、苦戦した様子も見られましたが、一生懸命取り組んでいました。

包丁に慣れていない生徒は、実に独創的な方法でリンゴや包丁を持っていました。端から見てみると危なっかしいのですが、実は、その生徒なりに、先生から教わったおりの持ち方をしようとしているようです。できるようになりたい、上手に切りたいという思いは、生徒たちの姿勢から、ひしひしと伝わってきました。

このような作業を見るにつけ、私は、「誰でも最初は1年生」という、とある童謡の歌詞の一節を思い出します。

今、上手にできる人も、最初から上手だったわけではなく、教わって、人真似をして、失敗もしながら、少しずつ上手になっていったのでしょ。

今回のリンゴが、木彫り細工のような荒々しい形になってしまったとしても、諦めずに、何度でもチャレンジしてほしいです。最初から完璧にできる人なんて、いないのですから。

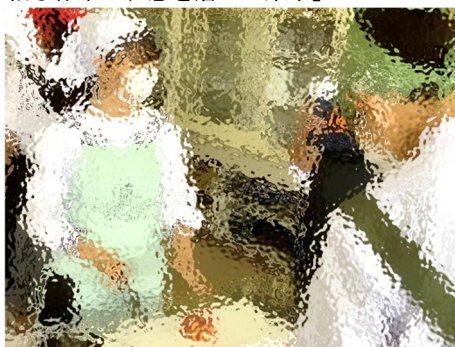
そしていつの日か、するすると滑らかに皮をむけるようになったとき、おぼつかない手つきの初心者に対して、優しく励ませる人になってほしい、と心から願っています。



【ウサギリンゴの耳の部分、なかなかいい手つきで、うまく削いでいます。繊細な作業に、息を潜めて集中】



【相棒は、動画を撮りつつ、「いいよいいよ！そのまま！」と応援したり励ましたりします。終始和やかな雰囲気でした】



【3等分は、意外と難しいものです。空いている方の手で、包丁を入れる角度を「こう？こうだね？」と確認】

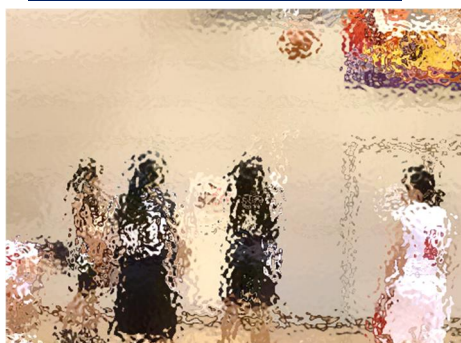


【先生にお手本を見せてもらおうと、自分もできるような気持ちになってきますね。これがプロの技ってもんですよ】



【生徒が切った、うさぎ型と木の葉型。美しいです。これが食卓に出てきたら、それだけでテンション上がりますね】

あきらめない！



【一日(土)にバスケット部が県大会に出場しました。中台中は、フリースローやシュートを決めて善戦するも敗退。残念でしたが、この貴重な経験を生かしてほしいです。今後の進撃に期待が高まります】



【サッカー部は、八日(土)のプロック大会二回戦にて、〇〇中と対戦。暑い中、全力を尽くしましたが敗退。自分たちのよさを生かしてほしいものです。写真は二日(土)の、〇〇中戦でのゴール】